



につさい

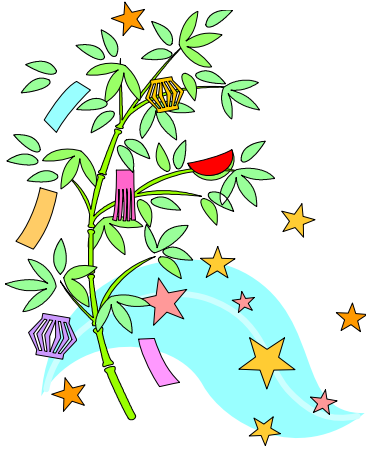
【校訓】自ら

【学校教育目標】

考える子・思いやる子・げんきな子

笑顔あふれる学び合う学校を目指して

入西小学校 令和3年7月1日 校長・太田 久美子



「きく」ということ

梅雨の合間をぬって、子供たちは2年ぶりの水泳授業を楽しんでいます。今年度は、密を防ぐということで5クラス実施から2クラス実施、学年によっては異学年とペアを組んでの2クラスというようにできることの中で学んでいます。

先日、坂戸市「学び合い全体研修会」の会場校として、3つのクラスで授業公開をしました。たくさんの学校を視察している指導者の先生から、「子供たちの繋がりが感じられる」「先生方の繋がりを意識した授業改善が見られる」と感想をいただきました。あの東日本大震災の時に乗り切れたのは、「人と人との繋がり」でした。苦しい時に楽しい時にも

「人と人が繋がること」で苦しい時には半分に、楽しい時には2倍になります。そんなクラスがたくさん出来上がりつつあることに安心しながら、今後を充実させたいと思います。

「繋がる」という過程の中では、「きく」ことが大切となります。人は「言葉」を持ちそれを使って自分の思いなどを伝えることができます。けれど「発信」することだけでは、そこには繋がりはありません。「発信」と「受信」があって初めて繋がります。学校では、この「受信=きく」ことを大切にしながら、「繋がり」を作っていくことに力を注いでいます。

さて、今まで「きく」というひらがなで書いてきました。今月はこの「きく」という漢字を使って目指す子供像、そしてつけたい力を説明します。(先月号では「みる」でしたね)

入西小では、初めは「聴く」そしてそこから「訊く」ことのできる子供に育てたいと頑張っています。それは「聞く」ではなく「聴く」「訊く」です。「聞く」は、耳に入ってきた音や言葉を認識するという意味です。英語で「hear」。受動的な「きく」です。「聴く」は英語で「listen」。「聴く」は「聞く」よりも能動的な「きく」です。相手の感じていること、伝えたいことを理解しようと耳を傾けることです。心を込めて、「きく」ことです。そして「訊く」は、自分の興味・関心から湧き起こった、知りたいことや質問したいことを尋ねることです。英語で書くならば「ask」が当てはまります。自分がききたいことを「訊く」ため、相手が言いたいことを「聴く」とは、矢印の方向が異なります。

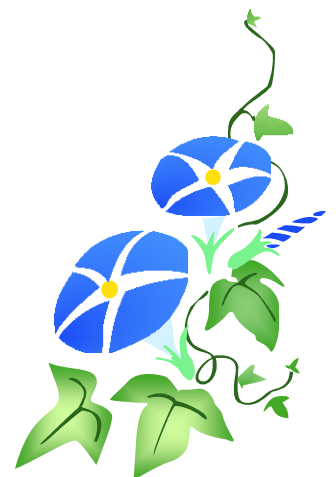
「聴く」「訊く」のように、常に一人ではなく「相手」がいて、言葉を介して繋がりを持つことのできる子供を育てたいと思っています。そのため言葉の数を増やしたり、思いやりのある言葉をつかえたりと「言語環境」に気を付けているところです。

でも、実は・・・

この言語環境は、学校の中だけでの環境ではありません。いつも衣食住を共にする「家族」も大きな影響を与えています。「家族」の話す言葉、「家族」でみるテレビ、動画など、子供たちが「聞いている」ところからスタートしている「言葉」が、自然に身に付いていることが非常に多くあります。

学校では、「友達の言葉をよく聴くように」と指導しているわけですから、友達の言葉は大いに影響を与えています。いかがでしょうか。

もうすぐ夏休み、家族と過ごす長い時間です。2学期に子供たちと会ったときに、温かい言葉をつかえたり心を込めて聴くことができる土台が作れていたりできると、またまた楽しい学校生活となります。どうぞ、ご協力よろしくお願いたします。



7月の行事予定		※詳しくは、学年だよりをご覧ください。	
1 (木) 授業参観・懇談会ひつわ 委員会活動 スイッチ OFF DAY	15 (木) 短縮4	13 : 45	下校
2 (金) 授業参観・懇談会5, 6年	16 (金) 短縮4	給食最終日	13 : 45 下校
7 (水) 教育相談日	19 (月) 短縮3		11 : 15 下校
8 (木) クラブ活動	20 (火) 短縮3	終業式	11 : 15 下校
9 (金) ひつわ校外学習 PTA 運営委員会			

お知らせ

- 第1回学校評議員会を6月25日に開催しました。今年度の学校経営や子供たちの様子を知っていただきました。
 今後はいろいろな教育活動をご覧いただき、ご意見を伺いながらよりよい学校を作っていきたく思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

令和3年度学校評議員の皆様です
 小峰 千春 様 (元小学校校長)
 久保田 美穂 様 (女子栄養大学専任講師)
 平田 康之 様 (交通指導員)
 島田 美千代 様 (見守り活動)
 向後 正隆 様 (若宮中学校長)
 木下 潤一 様 (PTA会長)

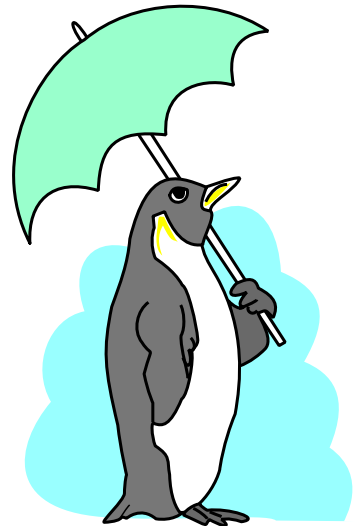
○地域の皆様へ

いつも本校児童の見守りありがとうございます。ここまで大きな事故等もなく楽しく生活を送れているのも皆様のおかげだといつも感謝しております。

だいぶ、暑くなりました。くれぐれも熱中症等に気を付け、ご自身の健康優先で、無理のない範囲で見守り活動等していただけたらと思います。

また、交通事故等の心配もしております。交通量の多い場所、見通しの悪い場所等もありますので、お気を付けください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

学校では、「学校応援団」として、見守り活動、花壇の手入れ読み聞かせ等、子供たちに関わり楽しみながら活動している団体があります。地域の皆様で、「一緒にやってみたい」という方がいらっしゃいましたら、入西小(281-0242 教頭)までご連絡ください。



校長室から その3

ある日、3年生の女の子が校長室を訪れました。ちょっぴり恥ずかしかったのか、友達と二人できました。「校長先生、詩を書いたんだ。読んでみて。」と。自主学习用のノートに詩が書かれていました。担任からは、「文章を書くのが苦手で、苦しそうだ。」という様子の報告があったばかりだったので、びっくり！「素敵な詩をありがとう。」とコピーさせてもらいました。
 後日、1冊終えたノートを持って来てくれました。何篇もの詩が書かれていて、「詩を書くことが好きになった」ことにうれしく思いました。

先生
 三年児童

先生たちは
 勉強をわかりやすく
 教えてくれる！
 やさしい だけど
 おこると こわそう

いろいろな先生が
 見守ってくれる
 だから、三年生になれた！
 いままで いろいろ
 勉強をおしえてくれて
 ほんとうに ほんとうに
 ありがとう！
 そつぎようするまで
 ずっと見守っていてください